

マツノザイセンチュウに関する試験(1)

—スラッシュマツ樹体内でのマツノザイセンチュウの生存期間—

福岡県林業試験場 小 河 誠 司

この試験は、樹脂滲出の十分あるマツ樹体内で、接種材線虫が何日位生きられるものかを確かめる為に行なったものである。

試験方法

樹脂の十分滲出するスラッシュマツに、ボトリチス菌で培養したマツノザイセンチュウを3万頭接種し、表一1の期日に接種木を伐倒、30~50cmに玉切った後、表--1の日数放置し、材線虫分離を行なった。

調査結果

下図の通りであるが、要約すると次の様になる。

i) 接種材線虫は、接種後5日位で樹体内にかなり分散し、丸太にすれば増殖出来るだけの密度に達する部分が出てくる。

ii) この試験に限って言えば、接種約75日後でも、丸太にすれば増殖出来る位の密度、材線虫が生存している個所が認められる。

iii) また、接種部位では、材線虫が永く生存する確率は、他の部位よりも非常に高い。

iv) 分離に供試したスラッシュマツは、全て樹脂が十分に滲出し、健全であると確認されたものである。

表一1 スラッシュマツに対する接種試験関連表

伐倒玉切 月 日	供試 本数	経過 日数	分 離 月 日	供試木の大きさ		備 考
				樹 高	直 径	
6月28日	3	2	7月29日	5.8m	5.5cm	
				6.4	6.5	
				6.7	7.3	
7月1日	3	5	7月31日	5.9	5.2	
				7.4	—	
				7.8	7.5	
7月10日	3	14	8月5日	7.3	5.5	
				7.5	6.2	
				7.5	6.5	
8月6日	3	41	8月30日	5.9	6.5	
				6.2	6.0	
				7.2	6.7	
9月9日	3	75	10月9日	6.2	—	5.2~7.5 cmの間
				6.7	—	
				6.8	—	

